

2/27(土)
開催

公開シンポジウム

リスク社会における 公共性の構造転換と 社会関係資本 ー計算社会科学からの挑戦ー

(先導的人文学・社会科学研究推進事業)

リスク社会とも呼ばれる現代。急速に発展するメディアは相互作用しながらソーシャルキャピタル（人々の信頼関係や結びつき）に大きな影響を及ぼしている。

本シンポジウムでは計算社会科学の視座から、重層的メディア環境におかれたリスク社会における公共性と社会関係資本の健全な形成の条件を明らかにする。



招待講演 Prof. Dirk Helbing(ETHZ)

Helbing 博士(チューリッヒ工科大学教授)は計算社会科学の第一人者。歩行者群や交通流のモデル、社会シミュレーションやビッグデータ分析など多彩な研究で知られる。プロジェクト FuturICT も手がける。
www.coss.ethz.ch/people/helbing.html

2016年2月27日(土) 13:00~17:00 東京大学本郷キャンパス工学部3号館31号室

プログラム

13:00~13:10 開会挨拶 上東 貴志(神戸大学)

13:10~14:10 招待講演 Prof. Dirk Helbing(ETHZ)

14:10~14:40 基調講演 遠藤 薫(学習院大学)

14:50~16:50 パネル討論 司会: 遠藤 薫(学習院大学)

討論者: 上東 貴志(神戸大学) 鳥海 不二夫(東京大学) 佐藤 嘉倫(東北大学) 品田 裕(神戸大学)
栗原 聡(電気通信大学) 数土 直紀(学習院大学) 貝原 俊也(神戸大学) 榊 剛史(東京大学)

16:50~17:00 閉会挨拶 佐藤 嘉倫(東北大学)

総合司会: 鳥海 不二夫(東京大学)

参加費

無料

問合せ先

東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻 鳥海不二夫 tori@sys.t.u-tokyo.ac.jp

主催

日本学術振興会 先導的人文学・社会科学研究推進事業
「リスク社会におけるメディアの発達と公共性」研究グループ

共催

東京大学大学院工学系研究科、学習院大学法学部、神戸大学経済経営研究所、日本社会学会、人工知能学会

協賛

横断型基幹科学技術研究団体連合、社会情報学会、数理社会学会